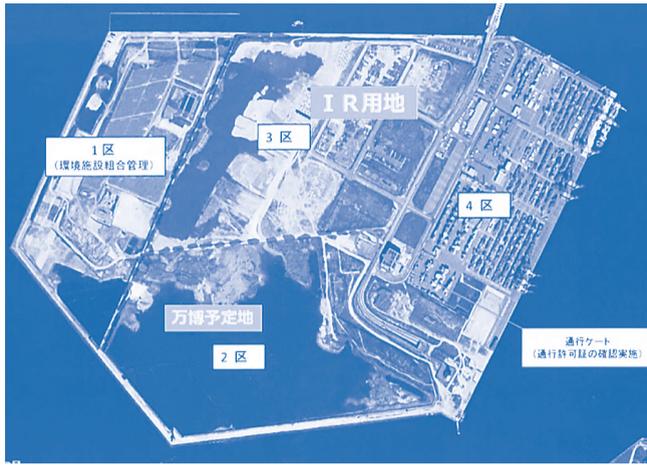


住民の合意なし カジノはあかん



空から見た夢洲〈1区…焼却灰投棄、2区…万博予定地、3区…カジノ・万博予定地〉

深刻な土壌汚染 地盤沈下必至

カジノ(賭博場)の誘致について、是非を問う住民投票の実施を求める署名21万筆が提出され、有効数に達しました。「カジノの是非は府民が決める 住民投票を求める会」は7月に住民投票条例の

制定を知事へ直接請求します。吉村洋文知事は「住民投票は必要ない」としていますが、住民合意なしの強行は許されません。カジノに反対する大阪連絡会は6月11日、シンポジウム「こんな計画(無謀・場所(夢洲))で認可はありえない!」を開き、様々な問題点を指摘しました。夢洲では2区の万博予定地と、3区のカジノ・万博予定地には、しゅんせつ土砂と建設土砂が合計約1億トンの投棄。汚泥に含まれる総水銀は環境基準の24倍、PCBの量は環境基準の28倍以上、1区にはダイオキシンの巣と呼ばれる焼却灰が投棄されている(ゴミの最終

処分場)。地盤は軟弱で地中90センチまで行かなければ岩盤に達せず、地盤沈下は必至。液状化・土壌汚染等対策で790億円の公金投入を決めたが、さらに増え莫大なものになる。カジノ事業者のMGMが客の2%がギャンブル依存症になると認めており、日本国内の集客が1100万人で、万単位のギャンブル依存症患者を生むことになる。

「夢洲等まちづくり事業調整会議」の非公開情報を知り得る府・市特別顧問(元首相補佐官)が、I Rに出資する企業と「アドバイザリー契約」を結んでいたという疑惑も明らかになりました。首相・国交相宛て「大阪のカジノ(賭博場)誘致計画を認可しないよう求める要請書」を広げましょう。

自分が大事にされる 実感

障害児教育

先輩のワザ伝授連続講座③「障害のある子どもたちの成長・発達」学習交流会を7月1日に行い11人が参加しました。大阪市立小学校障害児学級担任の山林哲さんの実践報告「すべての子どもが大切にされる教育をめざして」では、担任をしていた5年生のSさんが、障害児学級での学習と交流を通して生き生きと成長していく様子が語られました。



「夢洲等まちづくり事業調整会議」の非公開情報を知り得る府・市特別顧問(元首相補佐官)が、I Rに出資する企業と「アドバイザリー契約」を結んでいたという疑惑も明らかになりました。首相・国交相宛て「大阪のカジノ(賭博場)誘致計画を認可しないよう求める要請書」を広げましょう。

政令市教組交流会 教科担任制で多忙

全教・政令市教組交流会が6月11日、オンラインで行われました。札幌、仙台、新潟、川崎、横浜、さいたま、静岡、浜松、名古屋、大阪、堺、神戸、京都、広島、北九州の15政令市が参加。各政令市の取り組みや運動を交流しました。

各市からの発言では「5・6年生教科担任制を導入しても教員数を増やしていないため空き時間がなく、かえって多忙になった」と(さいたま)、英語の授業は専科ではなく担任が

たんぽぽ だより 7月

第2回教員採用試験突破講座が6月18日あり、大学生、初参加、粘り強く今年も参加の人など顔ぶれは様々でした。ですが、全員が合格したいという強い気持ちを持って参加していると感じました。今回、面接官役での参加でしたが、皆さんの採用試験に対する真剣な気持ちが伝わりました。私も8年受講者として参加していましたが、その当時の悔しい気

持ちや合格した喜びなどを振り返り、改めて初心にかえって頑張っていくと決意しました。是非とも1人でも多くの人が合格を勝ち取り新しいスタートを切ってください。また、8月1日、2日の平日開催ですが、大阪市教青年部による1泊2日の学習会、マルかじりゼミ合宿を行います。情勢学習や実践交流などを行います(美味しいごはんつき)。楽しく学んで交流を深めていきたいです。



事務職員部 賃金、働き方 業務の問題交流

事務職員部は6月11日総会を行いました。例年の日程で開催できて会議が成立した等良いスタートでした。総会は、書記長の提案後、交流を行いました。賃金や働き方では、再任用の賃金が低く、再任用手当が支給されないことや臨時的任用職員の最高号給が府費と市費では月額7万円も市費が低いこと、定年延長の提案があったが再任用と定年延長が混在して同一労働同一賃金から外れることなどの発言がありました。

も話題となりました。仕様書3品例示を調べるのにPCの制限が強すぎて検索ができず、個人のスマホでしているのはやっぱりおかしいことなど、話は尽きませんでした。

青年部 青年は声かけを 待っている

青年部総会に駆け付けて下さった皆さん、ご参加ありがとうございました。ミニ学習で特別支援学級の新たな動きなどを学んでから、職場での奮闘を交流しました。その中で、仕事の量だけでなく、トラブルの量も増えていることが話題に上がりました。仕事が増えたと授業の質が落ち、子どもたちがゆっくり話すことができず、しまいは怒りっぽくなっています。子どもたち

ガーベラだより 7月 全国交流集會に参加

パート・派遣など『非正規ではたらくなかまの全国交流集會in富山』(全労連非正規センター)が6月18日、19日に開催され参加しました。記念講演には雨宮凜さんがオンラインで、インタビュー

形式でお話してくれました。自身がはじめを受けて対人恐怖症になった経験、長年フリーターをしていた中で自己責任に追い込まれている現実を感じていたこと、右翼団体へ加盟していた

体験など、とても興味深いお話でした。学生時代に「がんばれば報われる」と教わって、夢を抱いて社会に出たのに、就職氷河期の時代で正規採用が一握り。フリーターとして働く中で「私は社会にだ

まされた!」と語っていたのが印象的でした。コロナ対策や物価高、生活苦の増大、ロシアのウクライナ侵略と平和の危機、危機乗換の改憲の危険性など、バラバラに見える問題はすべて生活と政治につながっています。今しんどのいのは自分のせいではないことを確信にこれから学習をしていきたいです。

全国でも厳しい状況が続く学校教育現場で各市の教職員組合が教育委員会との労働条件改善の交渉に粘り強く取り組んでいることが報告されました。

次回12月に川崎市で行われる予定です。

金融機関の統廃合が増え、地元金融機関がなくなりそうな地域もあります。両替等に金額もかかります。徴収金制度

「SKIPPポータルで削減されたのは職員同士の気遣いではないか」、声をかけあうのが当たり前だったのに「見ておいてください」という自己責任で、何も言えなくなっている青年たち。青年はあたたかい声かけを待っています。